



WOODLIFE CORE

木の家の一戸建ては

コアー建築工房



コアー建築工房の家はきっと、
あなたの人生の宝物になります。

続篇はWEBで順次公開予定 ↓



今日はまた一段と風が心地よい。こんな記憶もまた、
この家の一部として積み重なるのだろう。
去年と、おととしと同じように。

この家に住んでよかつた。
これまで何度も繰り返したかわからぬセリフを、
いままた繰り返してみる。
本当によかつた。

この家で過ごせてよかつた。
めっきり老け込んだ私が。
あの頃と比べて、
変わらないものへの愛しさと、

変わりゆくものの美しさが同居する、この家。
そして季節とともに、家族の物語もまためぐつてゆく。
移ろう時に寄り添うように、めぐつてゆく。

今年もかわいい花をつけた。
去年と、おととしと同じように。

縁側に座った妻が「梅の薰りがするね」とつぶやくと、
孫が「どこから?」と聞き返す。
「ほら、あそこ。花が咲いてるよ」

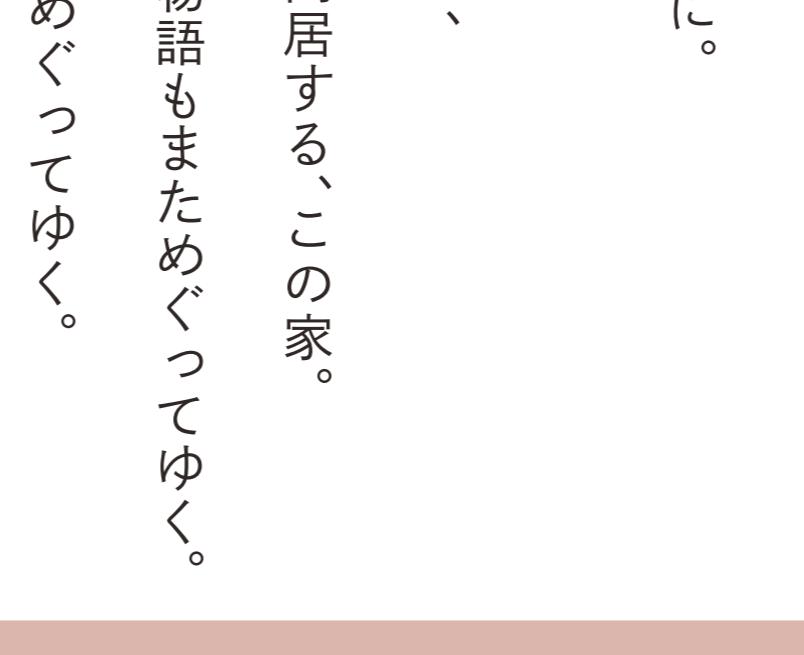
そう言つて微笑むのは、この家で育つた娘。
あの日娘の背中を押した梅の木は、
今年もかわいい花をつけた。

いまは小さな成長のしるしが並んでいる。
柱に刻まれた傷は、
彼が思春期にぶつけたマグカップのあと。

その傷のすぐ横に、
孫が「どこから?」と聞き返す。
「ほら、あそこ。花が咲いてるよ」

そう言つて微笑むのは、この家で育つた娘。
あの日娘の背中を押した梅の木は、
今年もかわいい花をつけた。

去年と、おととしと同じように。



携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

